

令和3年度 第4回千葉県中学校ビーチバレー大会要項

1. 主 催 千葉県バレーボール協会
2. 主 管 千葉県バレーボール協会中学校専門部
3. 後 援 御宿町 (一社) 御宿町観光協会 御宿町体育協会
御宿町・布施学校組合教育委員会
4. 日 程 令和3年7月31日(土) ※予備日は設けない
選手受付 8:30 引率者打合せ 9:00 競技開始 9:30
※選手はビーチクリーンを行う(9:00~9:15)
5. 会 場 御宿町中央海岸 月の沙漠記念像周辺特設コート
6. 参加資格 県内在学の中学生男子・女子で構成されること。
7. 競技規則ならびに競技方法
 - (1) チームは原則、同一学校の生徒により構成する(ただし合同チームの場合も可とする。合同チームの規定は互いに参加人数が満たない場合とする)。
 - (2) チームの人数は、4名の競技者と交替競技者2名とし、監督もしくは引率者を代表者とする各1名、計7名以内とする。
 - (3) 競技者は、ビーチスポーツにふさわしい、清潔なもので統一されていること。
 - ・学校のユニフォームでも可。
 - ・選手はユニフォームを着用しない場合、直接、腕に1~6番をマジック等で記入して、審判からハッキリ見えるようにすること。
 - (4) 細部については専門部会で協議、決定する。
 - (5) 2020年度、日本バレーボール協会ビーチバレーボール4人制競技規則による。
ただし、ネットの高さは、男子2m25cm、女子2m15cmとする。
 - (6) 競技は全て、25点ラリーポイント制、1セットマッチとし、両チームの得点の合計が7の倍数になったとき、コート・スイッチを行う。なお25点で打ち切りとする
 - (7) 競技開始時刻は、午前9時30分開始予定とする。第2試合は、第1試合終了から5分後に試合開始とし、各チームは前試合の進行状況に十分注意すること。ただし試合が連続する場合は、前の試合終了後10分後に試合開始とする。
 - (8) 予選はグループリーグ戦を行う。組み合わせについては、千葉県中学校バレーボール専門部 HP (<http://www.chiba-jhs-volleyball.com/>) に6月下旬に掲載する。
尚、試合進行により試合順・試合コートの変更がある。天候の変動により試合方法に変更が発生する事がある。
 - (9) グループリーグ戦での順位は、勝ち数、ポイント率(総得点/総失点)の順で決定する。それでも順位が決定しない場合は、チーム代表者による抽選で決定する。
各グループの上位校(参加チーム数による)は、決勝トーナメント戦に出場する。
 - (10) 審判は原則、チームの責任者が行うこととする。
8. 参加申込
 - (1) 申込期日 HPに掲載されている参加申込書をダウンロードして必要事項を記入、代表者氏名の印はそのまま令和3年5月21日(金)までにメールアドレスに添付し送信。
メールアドレス chiba.beachvolley.jhs@gmail.com
応募多数の場合、役員为学校以外の出場可能数を責任抽選で決定する。
県専門部で責任抽選を行い抽選結果は6月下旬にHPに掲載する。
 - (2) 申込方法 抽選されたチームは千葉県バレーボール協会HPに掲載されている参加申込書をダウンロードし代表者氏名に押印のうえ、下記まで郵送する。

(3) 申込先 〒292-0815 木更津市大久保3-9-1
木更津市立波岡中学校 太田 賢志 宛
電話番号 0438-36-0911

(4) 参加費 チーム5, 000円 (大会当日の保険料含む)

9. 表彰 団体表彰 1～3位に賞状授与 (試合終了後コートにて表彰)

10. 組み合わせ会議 6月3日 (木) 佐倉市立臼井南中学校 *責任抽選

11. 全国大会出場資格 男女上位1チームが全国中学校ビーチバレー大会 (神奈川県) への出場資格を得る *8月16日, 17日

※全国大会への出場チーム数は関東ビーチバレーボール連盟の理事会で決定する (4月下旬頃)

12. ルール上の注意

(1) 本大会は、男子：モルテン製 (V5B5000)、女子：ミカサ製 (VLS300) を使用球とする。

(2) チームは、最大4回の選手交代が認められます。一度に複数の選手が交代できる

(3) タイムアウトは、各チームが、1回 (30秒間) とることができる。また、熱中症対策としてどちらかのチームが13点となった場合、給水タイム (30秒間) を設ける。

(4) 次のように、アタック・ヒットが完了したときは、反則となる。

・相手チームの空間にあるボールをヒットしたとき。

・指を開いたティッププレーや、指を用いてティッププレーをする際に指を固定し合わせずに、アタックヒットを完了したとき。

・オーバーハンドパスで、両肩に対して直角でない方向にアタックヒットを完了したとき。但し、自チームの選手へボールをセットアップした場合は例外とする。オーバーハンドパスで、自チームヘトスを上げたボールが風で流されて相手コートに入った場合は、アタックヒットの反則としない。

(5) チームにおける第1回目のプレーでは、それがオーバーハンドで指を用いたプレーであっても (強打されたボールでなくても)、ボールが身体の2ヶ所以上に連続して当たっても、1つの動作中のものであれば許される。…*4人制ルール

(6) ブロックへの接触は、チーム1回目のプレーとして数えられず、その後さらに3回のプレーができる。…*4人制ルール

(7) ブロックのとき、ボールが1人あるいはそれ以上のブロッカーに連続 (素早く連続的に) して触れても、それが1つの動作であれば許される

(8) サービス順は、コイントスの後に監督またはチームキャプテンによって通告されたサービス順を守ってプレーすること。

(9) 監督またはゲームキャプテンが、競技中断 (タイム・アウト、競技者交代) の要求をする場合は、ハッキリしたハンドシグナルで申し出ること。

(10) コート上の選手が負傷及びその他の理由によって、4人以下になった場合は試合没収となる。

12. その他

(1) ラインズマン2名・スコアラー1名は、リーグ戦では、空きチームが担当する。トーナメント戦では第一試合は第一試合以外のチームが担当し、以降の試合については、負けたチームが担当する。

(2) チームのベンチ席は設けないので、監督及び控え選手は、副審側のコートサイドに、審判に分かるように控えること。サイドコーチは認められていないので、監督及び控え選手や応援する方は注意すること。(例; ボールのIN・OUTやプレーの指示等)

また、コート廻りで日傘の使用については、プレーに支障を与えることも想定されるので使用しないよう呼びかけること。

(3) 各チーム間でのトラブルは十分に注意する。(事前の指導を徹底する。)

(4) 貴重品は、各チームで責任をもって管理する。

- (5) 施設や設備を壊さないように十分指導に留意する。(現状復帰はチームで責任をもつこと。)
- (6) 会場に日陰が少ないため各チームで簡易テント等を用意して、熱中症には十分注意する。
- (7) 悪天候等で大会が中止になる場合はHPに掲載。また、予備日は会場の都合で確保できないため、全国大会への出場校は責任抽選で決定しチーム責任者に直接連絡する。
- (8) 本大会に関わるすべての関係者は、ガイドライン(別紙)を遵守すること。

第4回千葉県中学校ビーチバレーボール大会 新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン

千葉県バレーボール協会中学校専門部
令和3年4月5日作成

本ガイドラインは、新型コロナウイルス対策に関するスポーツ庁及び、日本スポーツ協会から示された各種の指針や、JVA（公益財団法人日本バレーボール協会）、JBV（日本ビーチバレーボール連盟）より出されたガイドライン（2020, 8, 1 更新）を基に千葉県バレーボール協会中学校専門部が作成したものです。

1 大会等の再開に当たっての基準

大会等の再開に当たっては、公益財団法人日本バレーボール協会が定めるガイドライン、各関係機関の対応方針及び当該大会等が開催される都道府県の方針に従い開催可否を判断します。

(1) ビーチバレーボールに関わる活動実施の基本的対応方針について（JVBより）

- ・ビーチバレーボール競技の大会等：開催地の方針に基づき開催可

なお段階的な移行期間において、上記開催制限以下の規模であっても、イベントを計画・実施の際は次の項目について十分に検討のうえ対応する。

- ① 多くの参加者（目安として50人以上）が出場する大会等の開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止または延期とするよう、都道府県知事からの要請等に基づいて適切に対応する。
- ② クラスタが発生するおそれがある講習会・研修会については、引き続き、都道府県知事からの要請等に基づいて適切に対応する。
- ③ 当面の間、急激な感染拡大への備えと、三つの密（密閉、密集、密接）を徹底的に回避するための対策など、適切な感染防止対策を講じること。ソーシャルディスタンスの確保（できるだけ2m以上）、換気や手洗い・うがいの徹底とともに、手指などで接触するもの（ボール・競技備品・ドアノブ・テーブル・椅子等）については定期的な消毒を実施すること。

(2) 熱中症予防対策（JVBより）

新型コロナウイルス感染症対策とあわせて、熱中症予防対策が必要になります。

特に、これまでの外出自粛の影響により、体力の低下や暑さに慣れていないこと、そして、マスクをつけてスポーツを行うと熱放散が妨げられることから、通常よりも熱中症のリスクが高くなります。練習等を再開する場合はくれぐれも無理のないよう慎重に、運動強度を調節し、適宜休憩をとり、適切な水分補給を心がけることとします。

(3) 本対応方針の見直しについて

対応方針の取扱いについては、今後、感染の状況や国・各自治体の方針、医学的知見などに基づき、適宜見直しを図るものとします。

2 ビーチバレーボール大会の開催における留意点

感染拡大の状況及び政府や開催地都道府県、それぞれの施設管理者の指針に基づいて主催者側を含めた関係部署での十分な協議が必要になります。感染リスクへの対応が整わない場合には、中止または延期するなどを慎重に決定します。

大会の開催時は、以下の内容を踏まえつつ、障がい者や高齢者などを含む参加者それぞれの属性を勘案して、感染防止のため自らが実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理することが求められます。また、各事項については、適切な場所（大会の受付場所等）に掲示するとともに、各事項が遵守されているかを定期的に巡回・確認することにより、大会の主催者だけでなく、参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組むこととします。

(1) 大会等参加募集時の対応

参加者は感染拡大防止のため、下記事項の遵守をお願いします。

下記事項を遵守できない場合、他の参加者の安全を確保する観点から、参加資格の取り消し、または途中退場を求める場合があります。

① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）。

※学校の健康観察カードでもよい。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

② マスクを持参すること（受付や着替え時等の競技を行っていない時、または会話をしている際には、マスクを着用すること）。

- ・移動しているとき
- ・競技を行っていないとき
- ・コート周辺で応援しているとき
- ・会話するときにはマスクを着用する。

③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと。

- ・会場に入るとき
- ・食事の前後
- ・トイレの後
- ・競技後など

④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ2m以上）。

（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）。

⑤ 感染防止策のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。

⑥ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(2) 大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全にイベントを開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行います。

- ① 受付窓口には手指消毒剤を設置する。
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかける。
(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限する)。
- ③ 受付を行うスタッフにはマスクを着用する。

(3) 大会参加者への対応

1) 体調の確認

大会当日の受付時に、以下の事項を記載した書面の提出をお願いします。

【学校の健康観察カード】

① 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号) 【エントリー時確認のため大会当日は氏名のみ】

② 大会当日の体温

③ 大会前2週間における下記事項の有無

ア 平熱を超える発熱(概ね 37.5°)

イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常

ウ 体が重く感じる(だるさ、倦怠(けんたい)感)、疲れやすい、息苦しさ(呼吸困難)等

エ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

カ 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無

キ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無

(4) 大会時準備・配慮すべき事項

1) 大会会場・競技備品類

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応では、換気について特に留意が求められます。

また、競技で使用する備品には不特定多数の参加者が直接手を触れる物が多く、開催期間の前後を含む継続した対応が必要です。

- ① 記録席、選手ベンチ等も、試合進行に支障が出ない範囲で距離を保つように設置する。
- ② 会場内の屋内施設(更衣室・トイレ等)やテントなどの設置物に関して、換気の悪い密閉空間とならないよう通気口を設ける等、換気に留意する。更衣室などでテントを閉鎖して使用する場合においても、一度に使用する人数を制限し、密集・密閉状態を避ける。
- ③ 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用すること。
※試合球の消毒に関しては、概ね2~3ラリー毎に交換する。
- ④ 線審フラッグ、得点板、警告カード、パドル、スケール、レーキ、記録用テーブル・イス、選手ベンチ等、試合で使用する共有備品類は適時消毒をする。
- ⑤ 審判員の笛についても唾液の付いた状態での放置を禁止する(※電子ホイッスル等の活用)。
- ⑥ マッチスケジュール作成の際、複数の試合があるチームは可能な限り同じコートでの試合を組み感染拡大防止に努める。

⑦ 感染対策とともに熱中症のリスク対策が必要である。特にマスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより、体温が上昇することがあるためこまめな水分補給を徹底する。

※競技中は給水タイムを導入する（どちらかのチームが13点になった時点）。

⑧ 役員や競技補助員の試合中におけるマスクやフェイスシールドの着用については、当日の気温等を考慮し判断する。

2) 運営スタッフの配置数及び体調確認

① 参加選手のみならず、運営に関わるすべてのスタッフの検温を実施し、(3)-1)-③と同様の確認を行う。運営リストにはない関係来場者（報道関係者を含む）などを正確に把握し、全員分の体調確認も徹底する。※健康チェックシートの提出。

② 主審、副審、スコアラー、アシスタントスコアラー、ラインジャッジ、点示、レトリバー、サンドレバラー等の審判やオフィシャルスタッフの配置については、予選や決勝トーナメントでの配置を変更するなど、大会全体の総人数を少なくするよう配慮する。なお、大会参加者には事前の告知を行う。

3) 式典等、運営の簡略化

コイントス時、キャプテンと審判間の挨拶や試合前後の握手に関して当面は一礼などでこれに代える形とします。

また開・閉会式、表彰式などでは、参加者が密になる状態を避けるため、式典参加者の人数を減らすなど内容を簡略化するなど、必要性に応じながらも柔軟な対応をとることがあります。

4) 洗面所（トイレ）・手洗い場所

トイレ・洗面所は感染リスクが比較的高いと考えられるため、以下に配慮して管理します。

また参加者等が試合間に手洗い・うがいをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所の確保します。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、適宜消毒する。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型）を用意する。
- ④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

5) 更衣室、休憩・待機スペース

更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられるため、更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備を行います。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。
(障がい者の介助を行う場合を除く。)
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室（使用）する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること。

6) 飲食時は以下のルールを厳守願います。

- ① 食事中は会話を控え、また向かい合っでの食事は控える。
- ② 食事後は必ず、その付近の消毒をする。
- ③ 食べ終わったゴミは放置せず、各自で持ち帰る。
- ④ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。

7) 競技中の注意事項

プレー中も選手、スタッフ同士の接触機会を減らすよう、以下の点に配慮します。参加者には、競技前に周知のうえ協力の要請をします。

- ① 共有備品類は、試合ごとの消毒を行うこと。
- ② 試合前後、公式練習時においてもできるだけ密集・接触を避けること。
- ③ 競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめる。
- ③ ネット際などで、相手に向けた状態での発声は控える。
- ④ タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用は禁止とする。
- ⑤ 競技に携わるスタッフ（サンドレベラー、レトリバーなど）の注意事項も明確にすること。

8) 観客の管理

観客の入場を認める場合には、マスクの着用をできるだけ課したうえ、観客出入口付近通路にアルコール等の手指消毒剤を設置するほか、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ入場制限をして間隔を空けるなどの対応が必要です。

特に試合終了後には観客の一斉移動が起こりやすく、通路等に人が押し寄せて密になる可能性が高いため、主催者によるコントロールが重要です。観戦場所が狭いスペースに限られる場合、当面は観客の入場を不可とします。

また、感染拡大の状況によっては、入場時の検温導入を行います。

応援については、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用することが求められますが、トラブル回避のためにもあらかじめ観戦者への周知を行います。

(5) 発熱者・感染者が発生した場合の留意事項

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意しながら、参加者より提出を求めた書面（上記（3）1））について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこととします。大会期間中に体調不良者（発熱等）が出た場合、大会継続・中止の判断を含め、開催地自治体及び保健所の指示に従い対応することとします。

また、大会終了後に、大会関係者や参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合は、必要に応じてその他の大会関係者や参加者に対して連絡をとり、症状の確認等を行います。

<参考>

◆新型コロナウイルス感染症対策（内閣官房） <https://corona.go.jp/>

◆新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

◆新型コロナウイルス感染症対策本部

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/taisaku_honbu.html

◆スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて（スポーツ庁）

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html

◆スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について（日本スポーツ協会）

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4164>

◆公益財団法人日本バレーボール協会（2021.3.5）

バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン

https://www.jva.or.jp/index.php/topics/20200529-2_

◆一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟

http://www.jbv.jp/news/2016/JBV%EF%BC%8FCovid-19%20Guidelines_20200627.pdf